

「自然」

活動スケジュール

<4・5月>

自然図鑑を読み、子どもがどのようなことに関心があるのか知る

<6・7月>

戸外で自然物に触れ、時には園に持ち帰って図鑑を見ながら名前や形の違いを見比べる

<8・9月>

- 芋虫を育ててチョウチョになる過程を観察し、プロジェクターでみる
- コーンのひげを干してお茶を作る

<10・11月>

散歩バックを作り、ドングリや落ち葉を集めて写真立てを作る

<12・1月>

戸外の草木の様子を観察し、春・夏での変化を知る

<2・3月>

雪に触れ、雪だるまや山を作って冬ならではの自然あそびを楽しむ

活動のために準備したものや環境の設定

- 散歩バック（探索、収集活動を楽しめるようにする）
- 自然に関する本や図鑑（気になったものを調べられるようにする）
- プロジェクター（子どもたちが拾った自然物を観察する）
- ★その他、自然物を使用した制作を行う

活動の内容

- 遊びや制作に取り入れて関心を深めるため、積極的に季節の自然に触れる
- コーン茶作りで味と香りを楽しむ
- 青虫が幼虫から変化する過程を観察し、五感を育む
- 図鑑や写真を見ながら「この公園には何がある？」「今の時期はどんなものがある？」を子どもたちと考え、実際に戸外を探索して探求活動をする

テーマの設定理由

- 園周辺に自然があり、触れて遊ぶ機会が多いため
- 子どもたちも木の実や花を遊びに取り入れるなど、自然に対する関心が強いので、より興味が深まり、探求心が育めるようにするため



活動中の様子

- 落ち葉や木の実を見つけると「これなんだろう」「どこからきたのかな？」と子ども同士で会話をし、中には以前拾ったものと見比べて色や形の違いに気が付く子どももいた
- 自然物を使った遊びや制作を子どもたちに伝え、一緒に楽しむことでドングリの殻を割る方法、葉っぱでどんなものが作れるかなど子ども自身が模索し、気が付く場面も見られ活動の幅が広がった

青虫がチョウチョになる様子を観察したよ！



拾ってきたもので写真立てを作ってみよう！



秋になって色が変わった落ち葉を拾ったよ



コーン茶を作って飲んでみたよ！おいしいね♪

